

看護過程と臨床判断 シラバス 61回生

授業科目	看護過程と臨床判断	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次(時期)	1年次 令和5年8月23日(水)	単位数/時間	1単位/30時間
講師名	竹山 やすえ	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院 副学院長兼教務課主任
		資格・免許	専任教員、看護師
ねらい	看護実践に必要な臨床判断の基礎となる思考過程と看護過程の展開について学ぶ		
到達目標	看護記録の目的と意義、看護記録に関する法的規定、看護記録の構成要素、看護記録を記載する際の留意点について理解する		
	看護過程の構成要素と各要素の関係性について理解する		
	看護過程の基盤となる問題解決過程、クリティカルシンキング、リフレクションの重要性について理解する		
	アセスメント(情報の収集と分析)、看護問題の明確化(看護診断)、計画立案の方法及び計画を実施する際の注意点、評価の方法について理解する		
	症状を呈する患者に必要な看護実践について、根拠に基づいて判断できる		
事前学習内容	シラバスを参照し、関連する内容に目を通しておいください		
成績評価の方法	1.終講試験(80点) 課題(2回の予定 20点) 合計100点		
使用テキスト 参考書	1.基礎看護技術 I 【医学書院】 2.実習記録の書き方がわかる 看護過程展開ガイド(第2版)【照林社】 3.看護の基本となるもの ヴァージニア・ヘンダーソン 【日本看護協会出版会】 4.看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント 【GAKKEN】		
回数	授業概要		授業方法
1	看護記録の目的と意義、看護記録に関する法的規定、看護記録の構成要素、看護記録の記載基準		講義
2	看護過程とは、看護過程の構成要素と各要素の関係性		講義
3	看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程、クリティカルシンキング、リフレクション)		講義
4	ヘンダーソンの基本的ニードと情報収集の視点①		講義
5	ヘンダーソンの基本的ニードと情報収集の視点②		講義
6	ヘンダーソンの基本的ニードと情報収集の視点③		講義
7	アセスメント(情報の解釈と分析)①		講義
8	アセスメント(情報の解釈と分析)②		講義
9	アセスメント(情報の解釈と分析)③		講義
10	全体像と看護問題の抽出		講義
11	看護計画立案		講義
12	事例検討		G・W
13	事例検討		G・W
14	看護計画に沿った実践と評価		講義
15	看護診断と看護過程		講義
16	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で使用する参考書・文献を活用し、関連する範囲は自己学習して講義に臨むこと ・講義で配布される資料を熟読し、課題や事後の学習に活用すること ・課題には計画的に取り組み、提出日を厳守してください 		